

スパイダーeye®

【特許出願中】

橋梁点検困難箇所への新たな点検手法

近接目視点検手法のひとつとして、
高性能カメラによる損傷状況把握が可能

標準タイプ

床版下面の
ひび割れ把握に
威力を発揮

昇降タイプ

隅角部の状況把握に
威力を発揮

スパイダーeyeの機能

〔標準タイプ〕

- 肉眼と同等の変状の状態を把握
- 撮影画像から損傷や、ひび割れ幅0.2mm以上を判別可能
- 画像合成によるラテラル除去が可能
- 機器の移動を手動で行うことからシステムがシンプル

〔昇降タイプ〕

- 撮影機器に昇降およびパンチル機能*を装備し桁下から見えにくい箇所を確実に撮影 *パンチル機能:カメラを上下左右に首振りする機能
- 撮影画像により鋼材腐食や塗装劣化・塗膜割れの確認が容易
- 橋梁附属物の点検も可能

桁下から見えにくい
箇所(鋼桁の例)

- ① ガセット部
- ② 上フランジ床版接続部
- ③ 下フランジ上部および対傾構
- ④ ウェブ全面(隅角部)

スパイダーeyeの使用箇所

■ 検査路が設置されていない主桁間および張り出し部



■ 橋梁点検車が届かない箇所

片側3車線道路の中分側張り出し部 / 大規模遮音壁設置箇所



テクニカルリンク株式会社

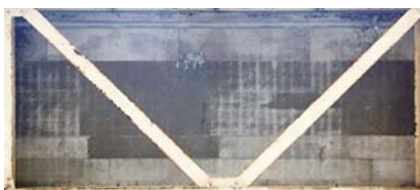
■標準タイプ



●撮影機構仕様

デジタル一眼レフカメラ 2020万画素
カメラ部のジンバル機構
総重量 約7kg
本体寸法：W560×H162×D600mm

●専用コントローラー



画像合成によるラテラル除去



●拡大画像

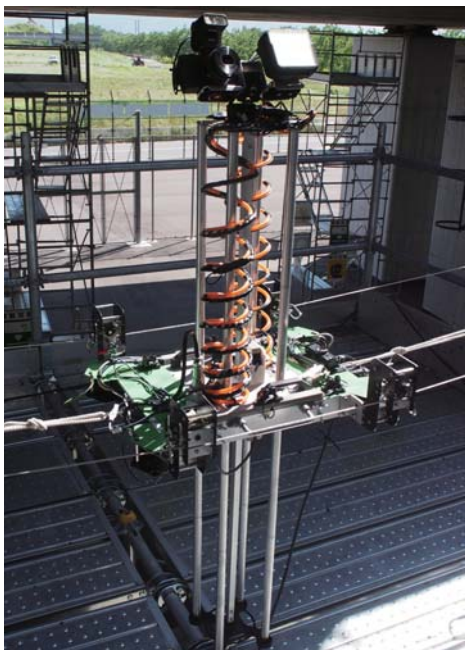


●床版下面撮影画像の合成処理

■昇降タイプ

●撮影機構仕様

コンパクトデジタルカメラ 1850万画素
カメラ部のパン&チルト機能・昇降高さ約1.2m
部材との干渉防止センサー搭載
総重量 約10kg



●下フランジ上部撮影画像



●ガセット部撮影画像

※本製品は、東日本高速道路株式会社、株式会社ネクスコ東日本エンジニアリングおよび株式会社イクスリサーチとの共同開発品です。

お問い合わせ先：テクニカルリンク株式会社
〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央3-2-1-3F
TEL:045-506-1372 FAX:045-506-1472
担当：大滝 政博